



タミルの風

Tel : 0091-44-2254-2912

e-mail : jsetoc@jschennai.org.in

ホームページ : <http://jschool2013.jimdo.com>

令和2年4月3日発行
チェンナイ補習授業校だより (第1号)

《 在籍数 》 小学部 56名

中学部 11名

計 67名

確かな学びと国際感覚豊かな子どもの育成

校長 吉本 卓

早いもので、本校の学校経営も3年目を迎えました。この2年間、皆様方のご理解とご協力のお陰で、スピード感を大切にされた学校改善を進めることができ、とても感謝しております。

今年度も、学校運営委員会の力強いご支援のもとに、子どもたちにとって、『心のオアシス』になれる学校経営を推進し、充実した日本式教育を展開して参りますので、今年度もよろしく願いいたします。

新型コロナの対応で開始日が遅れていますが、準備を丁寧に進めていますので、ご安心ください。

【教員1名の加配(増員)】

準全日制補習授業校という世界に4校しかない特殊な学校形態の本校は、これまで教員免許を保持する専任教員を、海外子女教育財団などを通じて採用しています。一般的な補習授業校では、免許を保持しない教員も多くいますので、本校は日本人学校と同じように、恵まれた学習環境にあります。

また本校は、日本政府の認可校ですので、教員謝金の半額を政府から補助していただいています。そのような中、政府申請書類等から、謝金補助対象の専任教員数を6名から7名にいただきました。そこで学校運営委員会で協議し、令和2年度は1名増員した7名体制で試行してみることにしました。

【加配教員を活用した授業改善】

1名の加配教員を、より効果的に活用するために、令和2年度は次のような体制で始動いたします。

《小学部》

加配教員は、中学校で数学指導をしてきた数学の専門家ですので、4年生から6年生の算数専科として配置します。また、算数授業時の4年生から6年生の学級担任は、単元によってはT2(補助指導)として授業に入る時と、補助が必要な「人数の多い低学年学級」でのT2として指導補助を行います。

例(6年生の授業)

ケース①:算数専科がT1(主に指導する教員)で、学級担任がT2として算数授業を補助します。

ケース②:算数専科のみで指導し、学級担任は他学年(1年生等)のT2として授業を補助します。

※このことから、今年度は、原則、保護者の皆さんによる授業サポートは行いません。

《中学部》

加配教員は専門性を活かし、2年生・3年生の数学を担当します。また、1年生の数学も数学免許を保持する教員が担当しますので、『中学部数学』は、専門性の高い授業を展開していきます。

また、この3年間で中学部担当教員が増員できましたので、他の教科におきましても、教員の専門を活かした授業展開を行えるようになり、複数教員で授業できる環境が整いました。

※3年間の教員数 = 平成30年度:5名、令和元年度:6名、令和2年度:7名



【始業式と入学式】

令和2年度は、小学部7名・中学部5名の入学生を迎え、小学部56名、中学部11名の計67名でスタートしました。アメリカンスクール(AISC)の開校日に合わせて始動していきますので、始業式と入学式の日程につきましては、確定次第、連絡させていただきます。ご理解くださいますよう、よろしくお願いいたします。